

【家庭教育支援チーム】

チーム名	壬生町家庭教育支援チーム
活動開始年度	平成20年度
活動拠点	壬生町内の小中学校10校、子育て支援センター、児童館 壬生町内の保育園および幼稚園 等
活動範囲	壬生町内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u>6</u> 人 家庭教育オピニオンリーダー5名、行政職員1名
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他()
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師とのアポイント 保護者のニーズにあった多様な講師選択をする。 ・ 学校・幼稚園・保育園・子ども未来課等とのアポイント 時期、日程調整、当日の運営など ・ 当日の運営 司会、会場調整、託児ボランティアとの打ち合わせ、おしぼり、飲み物、託児のおもちゃ等 ・ 当日の講師接待 ・ 子育て・親育ち講座の企画・運営 昨年度の反省に基づいた企画・運営 ・ アンケートの作成とその集計 各講座ごとにアンケートを実施し、集計する。 ・ 啓発用チラシ作成 各講座ごとにチラシを作成する。 ・ 家庭教育支援チーム員打ち合わせ会議の開催 毎月1回程度の打ち合わせ会議の開催

活動の成果	<p>・受講者アンケートの分析結果や家庭教育における今日的課題を踏まえ、地域の実情や参加者のニーズに応じた多様な講座を毎年40以上企画・運営している。特に各小・中学校では、学校行事やPTA行事と併せて講演・講座を実施し、保護者同士の交流、保護者が家庭教育について学ぶ機会を多く提供している。孤立した子育て、親の子育てに関する不安や悩みの解消に大いに寄与している。各学校の参加対象者数に対する参加率も非常に高く、参加者からの感想も好評で、本活動が家庭教育に関する学びの場として高い学習効果をあげている。</p>
活動において苦労した点や課題	<p>・保護者のニーズや地域の実情を把握した上での講師の選択はいつも苦労している。</p> <p>・父親の参加率が低いので、父親の参加を促すための方策が必要である。</p>
今後の活動目標	<p>・保護者のニーズや地域の実情を把握した上での講座の企画、今日的課題の解決のための幅広い分野からの講師の招聘など、学校だけでなく地域全体への普及を意識して活動を展開してきた。講座の内容も、小・中学校における講座(就学時健康診断時を活用した講座、小学校3年生の子をもつ親のための講座、思春期の子をもつ親のための講座)、保育園・幼稚園における講座、各地域団体との協働による講座(公民館係との連携・協力)、こども未来課との協働による講座(子育て支援センター・児童館との連携・協力)など、地域における保護者の学習機会を多面的かつ連続的に設定したり、より多くの機関や団体等と連携したりすることで、地域全体への家庭教育の更なる浸透を図っていききたい。</p>
問合せ先	<p>(部署・氏名等) 壬生町教育委員会事務局生涯学習課 高橋 唯拓 (TEL) 0282-81-1873 (E-mail)gakusyu@town.mibu.tochigi.jp</p>